

2015年7月2日

電通総研、「シニア×働く」調査を実施

- 60代の「働きたい」人の3割は働いておらず、
「働きたくない」人の4人に1人が働いている
- 60代前半の平均手取月額、男性24.9万円、女性11.9万円、
60代後半は、男性18.8万円、女性11.1万円

電通総研は、日本の今とこれからの働き方を研究・提言する、「×働く」スタディーの「女性×働く」に続く第2弾として、「シニア×働く」調査を実施しました。超高齢社会が進行するなか、定年後もシニア層のスキルや経験を生かして働き続けられる社会づくりは極めて重要です。本調査では、50代後半に就労経験のある60～69歳の2,600名の男女を対象に仕事や働くことへの意識や満足度を調査しました。

調査結果では、60代の半数以上が働きたいと思っているものの、その約3割が働いておらず、特に60代後半では働きたい人の約半数が働いていないことが分かりました。一方で、働きたくない60代の4人に1人が働いています。また、現在働いている人の働き方に対する満足度は高くなっていますが、シニア層は仕事に大きな期待をせず、「働けるだけで満足」という気持ちを持つ人もおよそ半数いることが分かりました。

今後、シニア層がいつまでも元気で働き続けられる社会を構築していくためには、シニアの経験やスキルを生かせるような環境づくり、ワークシェアなど体力やライフスタイルに合った仕組みづくりを通じ、シニア自身の前向きな意欲と納得を得ることが重要であると考えられます。

本調査の主な結果は以下のとおりです。

1. 定年退職後も仕事を継続する人が多数派に。定年退職経験者のうち、男性の約72%、女性の約55%が仕事を継続
2. 60代後半の働き方は「アルバイト・パート」が主流に。男性の33.8%、女性の67.2%が「アルバイト・パート」
3. 働くことを希望する60代男女の3割は働いていない。働きたくない人の4人に1人は働いている
4. 働いている60代男女の7割は現在の働き方に「満足」だが、「働けるだけで満足」も半数と根強い
5. 定年後の仕事イメージは、おおむねイメージどおり。想定外は手取り収入の少なさ
1ヵ月の平均手取り収入額は、男性60代前半で24.9万円、60代後半で18.8万円。
女性は60代前半で11.9万円、60代後半で11.1万円
6. 給与は少なくとも「のんびり働く」が理想の働き方

<本調査に関する問い合わせ先>

株式会社電通 電通総研 ヒューマン・スタディーズ・グループ
齊藤 TEL: 03-6216-8458

【調査結果の詳細】

(N=回答者数)

※図のスコアは小数点第2位で四捨五入しているため、足し上げても100%にならない場合があります。

1. 定年退職後も仕事を継続する人が多数派に。定年退職経験者のうち、男性の約72%、女性の約55%が仕事を継続

(1) 男性の約8割、女性の約4割が「定年退職」を経験

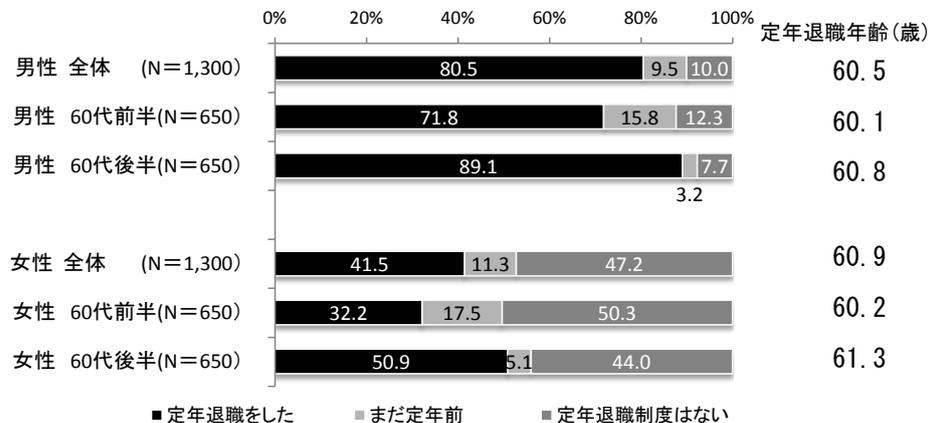
50代後半に働いていた60代男女2,600名のうち、「定年退職」を経験した人は、男性の約8割、女性の約4割。定年退職年齢は男女とも平均60～61歳。

図1 定年退職の有無と平均「定年年齢」

【設問】あなたは、定年退職をしましたか。(ひとつだけ)

【設問】あなたが定年退職をしたときの年齢をお知らせください。

ここでの定年退職とは、一般的に60歳を迎えて訪れる正社員雇用契約の終了を指します。



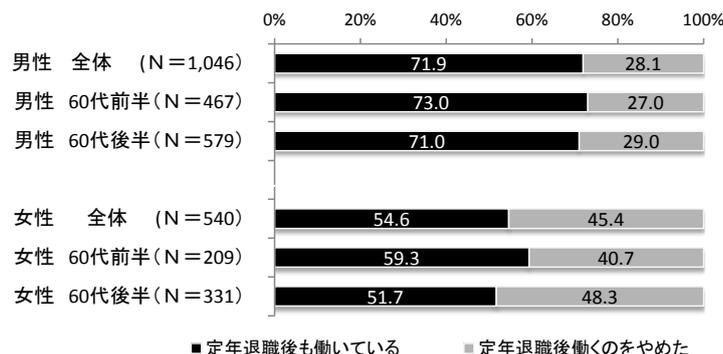
(2) 男性定年退職者の約72%、女性の約55%は定年退職後も仕事を継続

定年退職経験者に、定年後の仕事継続状況を聞いたところ、男性の約72%、女性の約55%が定年後も働くことを継続している。男性は60代前半・後半にかかわらず7割以上が定年後も仕事を継続し、男性にとっては、一回「定年」しても、働き続けることが常態化しつつある。また、定年後引き続き働いている人のうち、過半数(56.6%)が「再雇用契約をして同じ会社やグループ会社」で働いている。

図2 定年退職後の仕事継続

【設問】あなたが定年退職をしたあとの仕事についてあてはまるものすべてについてお知らせください。

(対象者=定年退職経験者)



* 定年退職後も働いている
「再雇用契約をして同じ会社やグループ会社で働きはじめた」「(社員としての)勤務延長をして同じ会社やグループ会社で働きはじめた」「すぐに別の会社で働きはじめた」「ある程度期間をおいたあと、別の会社で働きはじめた」「自ら起業したり、起業の準備をはじめた」「故郷や別の場所に移住して仕事を見つけた」「その他」と回答した人を合わせた数値

2. 60代後半の働き方は「アルバイト・パート」が主流に。男性の33.8%、女性の67.2%が「アルバイト・パート」

(3) 60代後半になると「働いている」人は激減

男性60代前半の約3割は「無職」であるが、60代後半には63.5%と無職率が倍増する。女性も同様に、「無職」は12.6%から22.3%に、「専業主婦」は32.8%から49.1%へと増加する。この結果、働いている女性の割合は60代前半の54.6%から60代後半の28.6%へとほぼ半減する。

(4) 働いている女性60代の約7割が「アルバイト・パート」。男性も60代後半になると働いている人の約3割が「アルバイト・パート」

60代男女に現在の職業について聞いたところ、性別や年齢（60代前半と後半）で大きく異なっている。

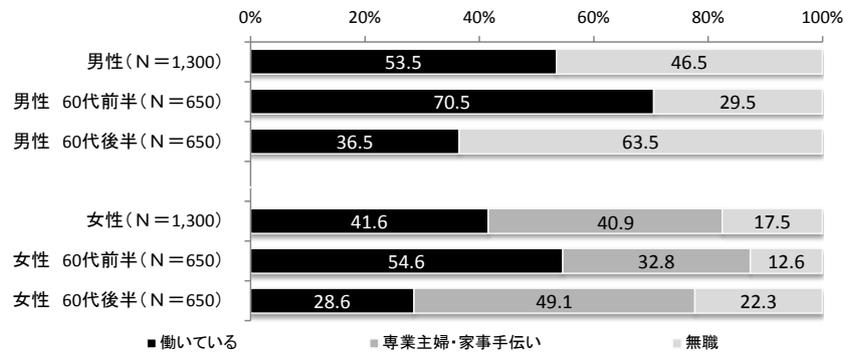
男性60代前半は、働いている人のうち「正社員」が46.7%で最も多く、以下「契約社員・嘱託社員」（31.7%）、「アルバイト・パートタイム」（14.0%）が続く。しかし60代後半になると、「正社員」は約2割（21.1%）、「契約社員・嘱託社員」は27.0%になり、「アルバイト・パートタイム」が33.8%となる。

一方、女性は60代前半・後半での変化はあまりみられず、働いている人の約7割弱（67.1%）が「アルバイト・パート」である。

図3 現在の職業

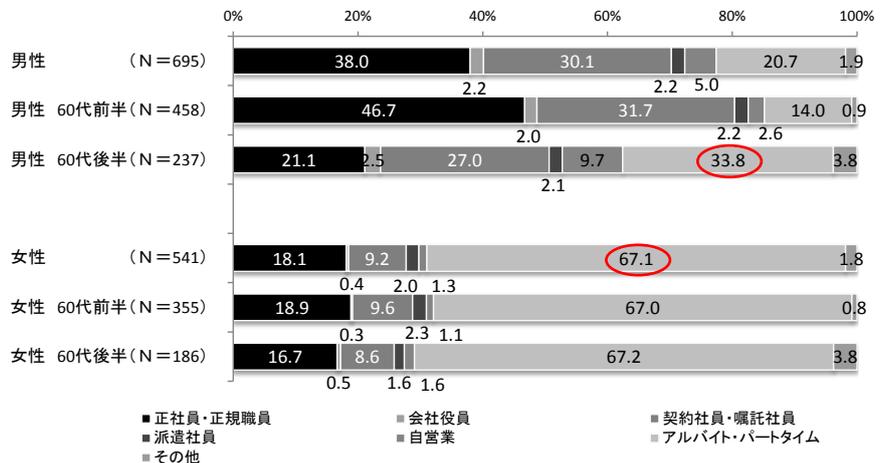
【設問】あなたの職業をお知らせください。

① 仕事の有無



② 現在働いている人職業

(対象者 = 「働いている人」 (図3①で現在働いていると回答した人))



(5) 60代後半になると仕事選びは「自分の健康」や「時間的ゆとり」を重視

60代後半まで働き続けている男女に、60代前半の仕事を選ぶときに重視したこと、60代後半の仕事を選ぶときに重視したことを聞いてみたところ、男性60代前半は、半数以上の人「これまでに培った自分の経験の活用」を重視して仕事を選んでいるが、60代後半になると「自分の健康」「最低限の収入」「時間的ゆとり」を重視するようになる。

女性は、60代前半・後半ともに、「最低限の収入の確保」「自分の健康」「これまでに培った経験の活用」「仕事と自分の生活のバランス」を重視するが、60代後半になると「最低限の収入確保」「自分の健康」「時間的ゆとり」を重視する人が増える。

図4-① 60代前半と後半の仕事選択重視点（男性）

【設問】あなたの60代前半（60～64歳）の仕事選びについて、「重視したこと」にあてはまるものすべてについてお知らせください。

【設問】あなたの現在の仕事選びについて、「重視したこと」にあてはまるものすべてについてお知らせください。
（対象者：60代後半男女で、60代前半も働いていた人）

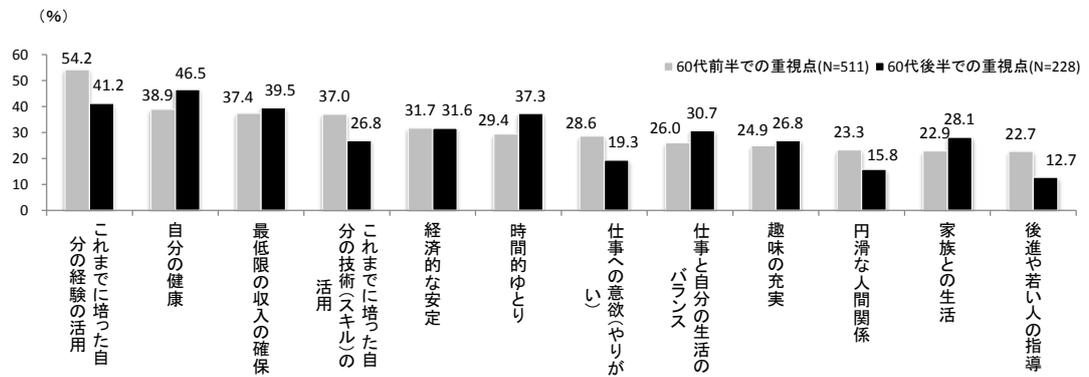
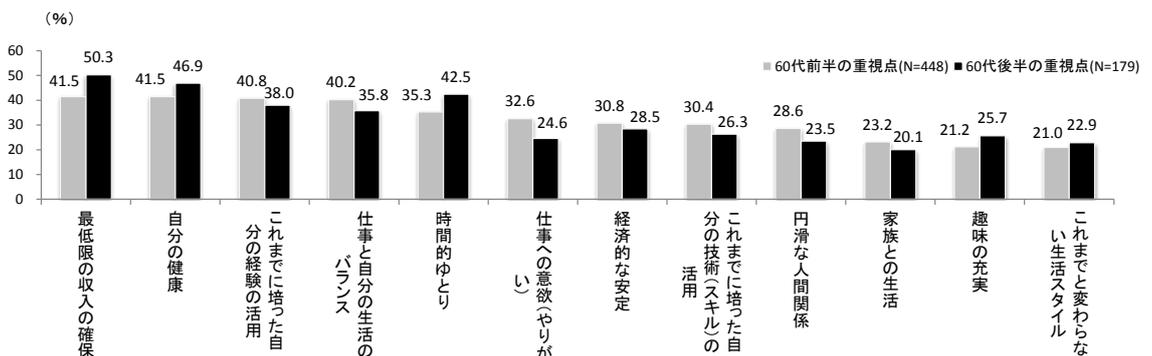


図4-② 60代前半と後半の仕事選択重視点（女性）



3. 働くことを希望する 60 代男女の 3 割は働いていない。働きたくない人の 4 人に 1 人は働いている

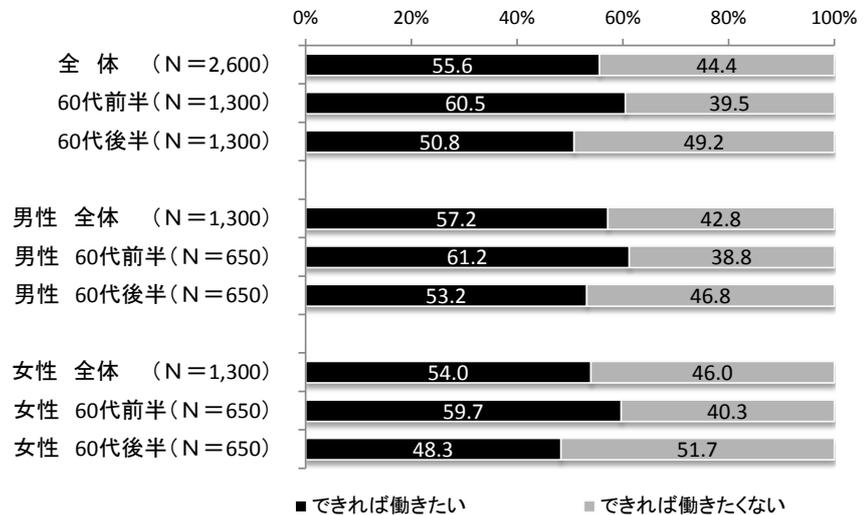
(6) 60 代前半男女の約 6 割、60 代後半男女約 5 割が「働きたい」

「現在、働きたい」と思っているかどうかでは、男性の 57.2%、女性の 54.0%が「働きたい」と回答している。性年代別にみると、男女とも 60 代前半は「働きたい」が約 6 割。60 代後半になると「働きたい」人が減少し、「働きたくない」人が増加する。特に女性 60 代後半は「働きたくない」が過半数（51.7%）となる。

図 5 現在、働きたいか

【設問】正直な気持ちとして、あなたは現在働きたいと思っていますか。(ひとつだけ)

※現在働いている、働いていないに関わらず、あなたのお気持ちに近いほうをお知らせください。



(7) 働きたい理由。60 代前半は「お金」のため、男性 60 代後半は「健康維持のため」、女性 60 代後半は「社会や人とのつながりを実感するため」

働きたいと思っている人の理由としては、男性では、60 代前半は「家計・生計のため」が 62.3%と最も多くなっている。以下、「元気なうちは働くのが当たり前だから」(47.7%)「健康維持のため」(43.0%)が続くが、いずれも 4 割台にとどまる。

60 代後半になると、「家計・生計のため」は 41.3%に減少し、「健康維持のため」が 51.4%、「元気なうちは働くのが当たり前だから」(50.0%)が増加する。男性 60 代前半は「お金」のため、60 代後半は「健康」のために働きたいと思っている。

女性は、60 代前半は「自由になるお金を得るため」(50.5%)が最も多く、「家計・生計のため」(46.6%)が続く。60 代前半は女性も男性同様、「お金」のために働きたいと思っている。60 代後半になると、「社会や人とのつながりが実感できるから」(49.0%)、「健康維持のため」(43.3%)、「働くことが好きだから」(38.2%)が増加する。なお、男性 60 代後半では「働くことが好きだから」は 24.0%にとどまる。

図 6-① 働きたい理由(男性)

【設問】あなたが働きたいと思う理由をお知らせください。(いくつでも)
 (対象者=図5「できれば働きたい」と回答とした人)

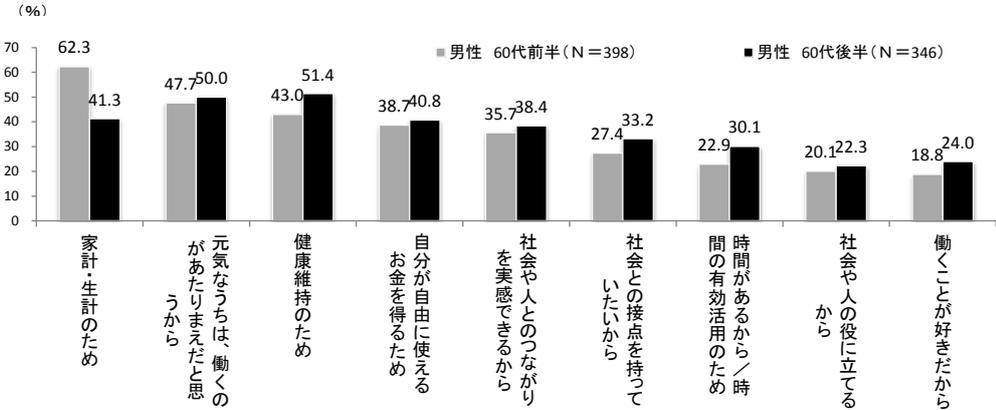
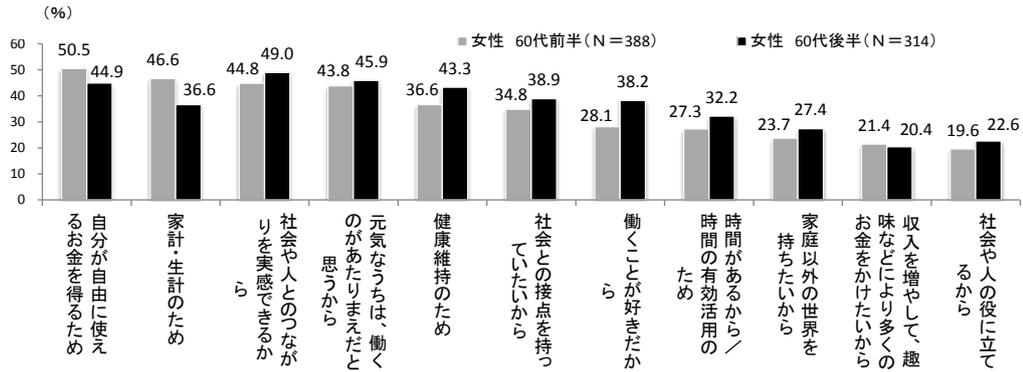


図 6-② 働きたい理由(女性)

(対象者=図5「できれば働きたい」と回答とした人)



(8) 「働きたい」人の約3割は働いておらず、「働きたくない」人の4人に1人が働いている」

就労希望と就業状況をみてみると、「働きたい」と思っている60代男女の65.6%は希望どおり働いているが、34.4%は「働きたい」と思っているものの「働いていない」。

また、「現在働きたくない」と思っている人の4人に1人は働いている。

60代前半・後半に分けてみると、男性60代前半で「働きたくない」人のうち、約半数(47.6%)が「働いている」。一方、「働きたい」と希望しつつも働いていない人の割合は、男性60代前半は15.1%であるが、60代後半は42.2%となる。男性60代後半で希望どおりに働けていない様子が見えてくる。

女性は「働きたい」と希望しつつも「働いていない」人は60代前半が31.4%、60代後半が54.1%。60代後半では半数を超える。シニア女性の働く場が限られていることがうかがえる。

図7 「働きたい」意識別と現状の就業状況

【設問】正直な気持ちとして、あなたは現在働きたいと思っていますか。(ひとつだけ)

【設問】あなたの職業をお知らせください。

			人数	働いている人の割合	働いていない人の割合
全体	60代	働きたい	1,446	65.6	34.4
		働きたくない	1,154	25.0	75.0
	60代前半	働きたい	786	76.8	23.2
		働きたくない	514	40.7	59.3
	60代後半	働きたい	660	52.1	47.9
		働きたくない	640	12.3	87.7
男性	60代前半	働きたい	398	84.9	15.1
		働きたくない	252	47.6	52.4
	60代後半	働きたい	346	57.8	42.2
		働きたくない	304	12.2	87.8
女性	60代前半	働きたい	388	68.6	31.4
		働きたくない	262	34.0	66.0
	60代後半	働きたい	314	45.9	54.1
		働きたくない	336	12.5	87.5

4. 働いている60代男女の7割は現在の働き方に「満足」だが、「働けるだけで満足」も半数と根強い

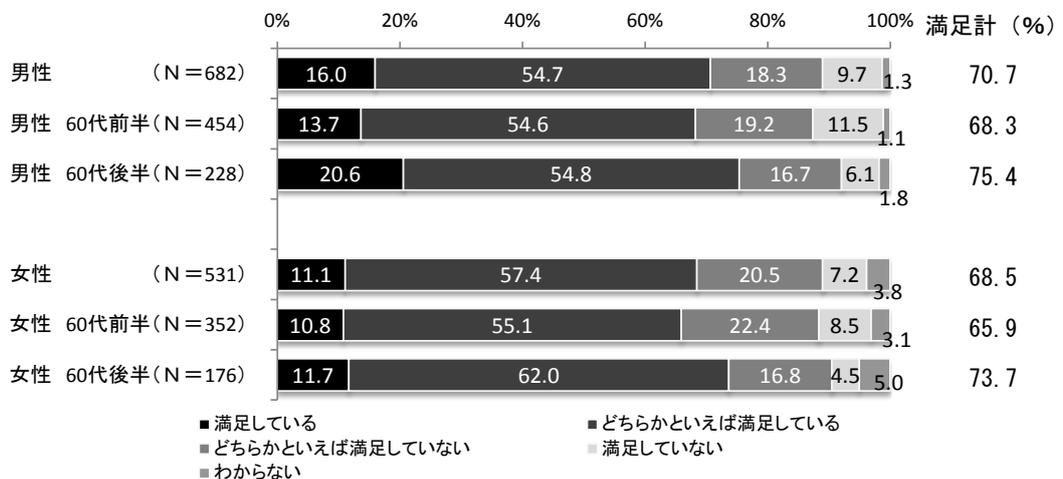
(9) 働いている60代は男女とも約7割が現在の仕事に「満足」

現在、働いている人に、働き方への満足度を聞いたところ、男女ともに「満足している」は1割台だが、「どちらかといえば満足」が5~6割おり、両者を合わせると、男女ともに約7割が「満足」していることになる。特に、男性60代後半は「満足している」(20.6%)、「どちらかといえば満足している」(54.8%)を合わせると75.4%となり、4人に3人が現在の働き方に満足していることになる。60代後半は、女性も同様に満足度が高く、満足計が73.7%になっている。

図8 現在の働き方に対する満足度

【設問】あなたは、現在のご自分の働き方に満足していますか。(ひとつだけ)

(対象者=現在働いている人)



(10) 「自分の経験や能力を生かされている」が満足理由。ただし、「働けるだけで満足」という気持ちも根強い

「満足」だと思ふ人にその理由を聞いたところ、60代前半男性では「自分の経験が生かされているから」や「自分の能力が生かされているから」が上位に挙がっているが、60代後半になると「働けるだけで満足だと思ふから」と思ふ人が多くなっている。

女性では、60代前半後半ともに、「働けるだけで満足だと思ふから」が高くなっている。シニア層は働く場所や仕事内容が限られているため、「仕事があるだけで満足」という気持ちが根強くなっているようだ。

図 9-① 自分の働き方に満足している理由(男性)

【設問】あなたが、現在のご自分の働き方に満足している理由をすべてお知らせください。(いくつでも)
(対象者=現在、働き方に満足している人)

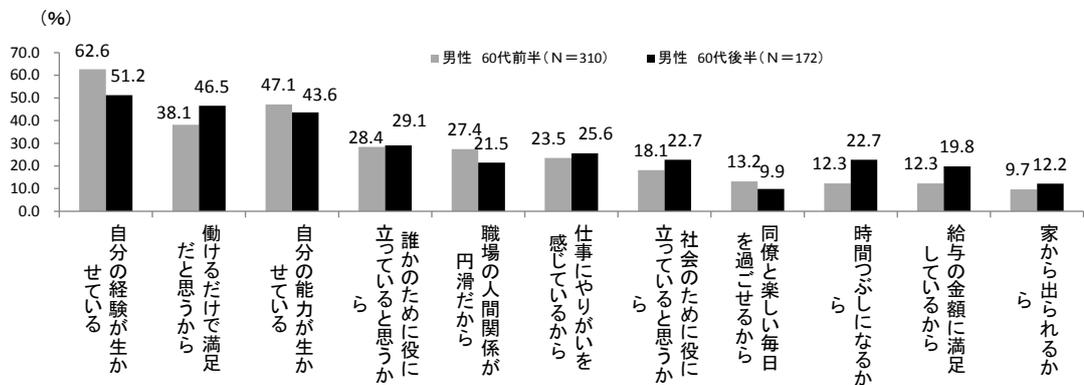
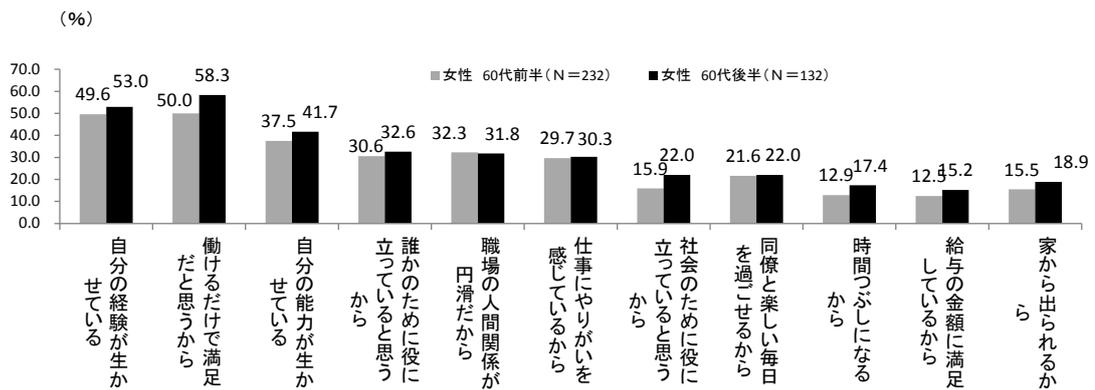


図 9-② 自分の働き方に満足している理由(女性)

(対象者=現在、働き方に満足している人)



5. 定年後の仕事イメージは、おおむねイメージどおり。想定外は手取り収入の少なさ。1カ月の平均手取り収入額は、男性60代前半で24.9万円、60代後半で18.8万円。女性は60代前半で11.9万円、60代後半で11.1万円

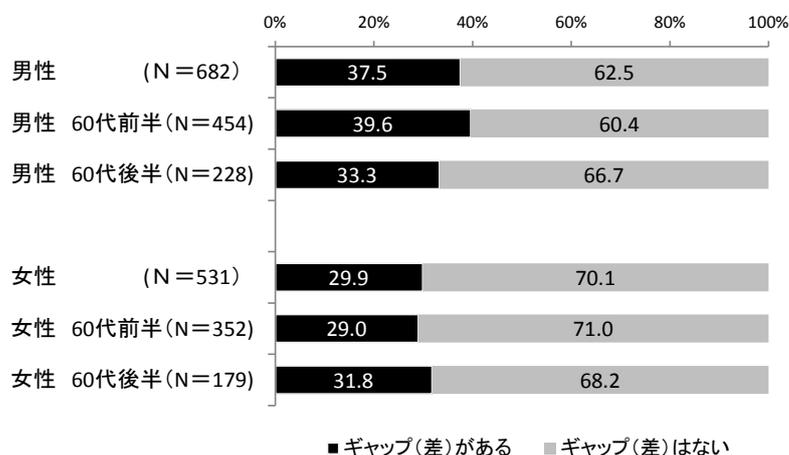
(11) 定年後の仕事については男性の約6割、女性の約7割が定年前のイメージとギャップなし

現在の仕事について、定年前の予想とのギャップについて聞いたところ、「ギャップあり」と回答したのは、男性37.5%、女性29.9%。男性の6割強(62.5%)、女性の約7割(70.1%)が「ギャップなし」(想像していたとおり)と思っている。

ちなみに「ギャップあり」が最も多いのは男性60代前半(39.6%)である。

図10 現在の仕事に関する定年前とのイメージギャップの有無

【設問】あなたは、定年退職後と定年前にイメージしていたものとギャップ(差)はありますか。総合的に判断してお知らせください。(ひとつだけ) (対象者=現在働いている人)



(12) 仕事の楽しさ・やりがい・若い人との関係性、1日の忙しさは想定どおり。想定外は休みがとりやすいこと・手取り収入の少なさ

現状の働き方などについて、定年前に思い描いていたイメージに合致しているかどうかを聞いたところ、仕事の楽しさ、やりがい、若い人たちとの関係性、1日の忙しさについては、「イメージどおり」が5割を超え、半数以上の人イメージどおりと思っている。一方、イメージどおりでないと感じていることは、「休みがとりやすいこと」「手取り収入が少ないこと」。

ちなみに現在の給与について、60代前半は52.7%が「もっともらってもよい」と考えており、妥当だとする人は45.2%にとどまる。60代後半になると、「妥当」が57.7%となり、「もっともらってもよい」が39.6%になる。

なお、今回の調査対象者の現在の手取り収入(1カ月)の平均額は、男性60代前半で24.9万円、60代後半で18.8万円。女性は60代前半で11.9万円、60代後半で11.1万円。

図 11 定年前とのイメージギャップ (60代男女)

【設問】あなたは、定年後の仕事について、定年前に思い描いていたイメージと今とでギャップ(差)はありましたか。それぞれについて、AとBのどちらに近いかをお知らせください。(それぞれひとつだけ)

(対象者=現在働いている人)



6. 給与は少なくとも「のんびり働く」が理想の働き方

(13) 男性は専門能力を生かして働くこと。女性はパートタイムで比較的自由に働くこと。男女とも「のんびり働く」ことが理想

理想の働き方を聞いてみると、男性は60代前半・後半ともに「今まで培ってきた専門能力や知識を生かして働く」こと。以下、「給与は少ないけれどものんびり働く」こと、「自分の趣味を生かした職業につく」ことが上位に挙げられた。

一方、女性では、60代前半後半ともに、「パートタイムで比較的自由に働く」こと、「給与は少ないけれどものんびり働く」ことが上位に挙げられている。男性では今まで培った能力を生かしたいと思う人がいるものの、男女とも「のんびり働く」ことを理想としている。

図 12-① 理想の働き方 (男性)

【設問】あなたにとって、理想的な働き方はどのような働き方ですか。あてはまるものをすべてお知らせください。(いくつでも)

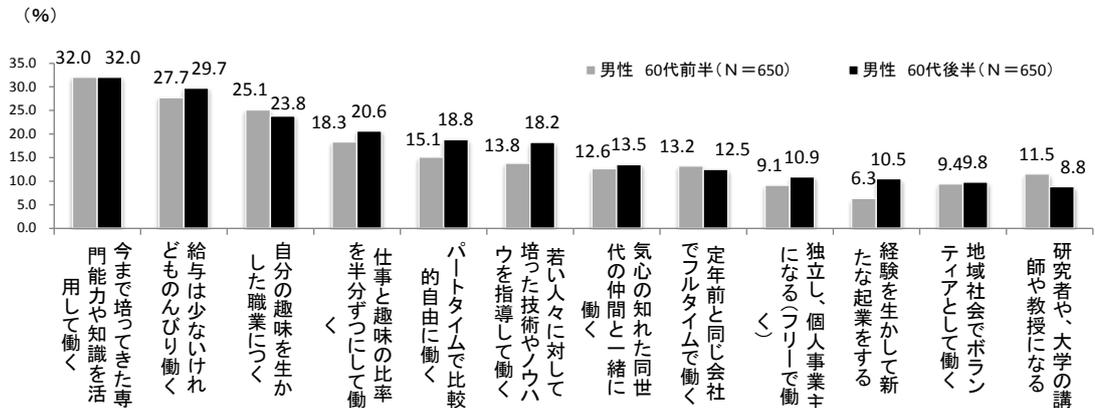
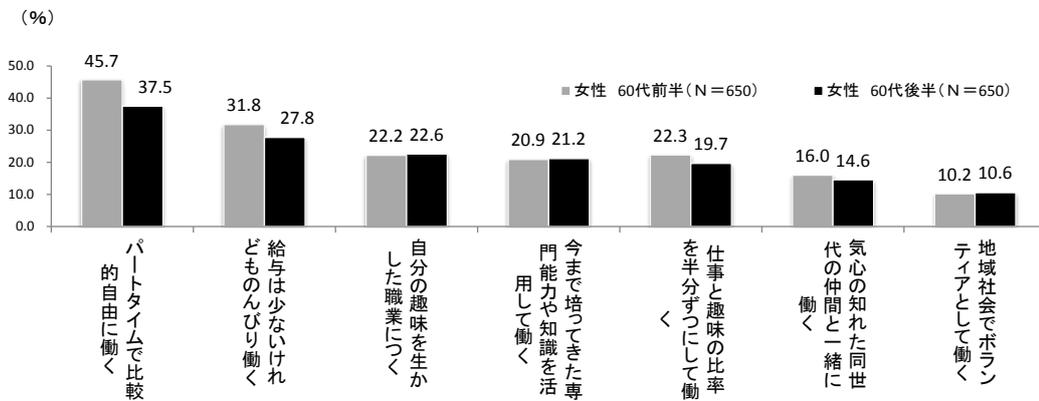


図 12-② 理想の働き方（女性）



(14) 60歳以降働き続けるために必要なことは「お金」「体力」「気力」

60歳以降も働き続けるために必要なことを聞いたところ、男性は60代前半・後半に限らず、「給与が下がってもゆとりをもって暮らせるために資金・資産」が最も多く、その他、「今以上に元気な体力」「仕事以外に打ち込める趣味やスポーツ」が上位に挙げられた。稼ぐというよりも、ゆとりを持って働き、仕事以外の何かを楽しむことがよい働き方をするために必要なことだと考えている。

一方、女性は、60代前半・後半ともに「今以上に元気な体力」がトップに挙がり、半数以上の人々が「体力」が必要だと思っている。体力以外では、女性は60代前半は「給与が下がってもゆとりをもって暮らせるために資金・資産」「今以上に強い気力」が続く。60代後半になると「気力」が「お金」を上回る。

図 13-① 60歳以降も働くために必要なこと（男性）

【設問】 現在から振り返ってみて、60歳以降働き続けるために、どのようなものを持っていれば、より良い働き方が出来たとお考えになりますか。あてはまるものをすべてお知らせください。（いくつでも）

	男性 60代前半 (N=650)	男性 60代後半 (N=650)	女性 60代前半 (N=650)	女性 60代後半 (N=650)
1	給与が下がってもゆとりをもって暮らせるための資金・資産 44.2	給与が下がってもゆとりをもって暮らせるための資金・資産 42.9	今以上に元気な体力 53.5	今以上に元気な体力 53.5
2	今以上に元気な体力 37.1	今以上に元気な体力 42.8	給与が下がってもゆとりをもって暮らせるための資金・資産 42.2	今以上に強い気力 37.8
3	仕事以外に打ち込める趣味やスポーツ 33.8	仕事以外に打ち込める趣味やスポーツ 32.2	今以上に強い気力 37.1	給与が下がってもゆとりをもって暮らせるための資金・資産 36.0
4	今以上に強い気力 24	今以上に強い気力 28.9	仕事以外に打ち込める趣味やスポーツ 27.5	仕事以外に打ち込める趣味やスポーツ 32.8
5	仕事以外に一定の収入が得られる副業 18.6	何でも相談できる信頼できる友人や知人 19.2	何でも相談できる信頼できる友人や知人 22.8	何でも相談できる信頼できる友人や知人 21.2

.....

■ 「シニア×働く」調査 調査概要

- ・調査対象：50代後半に就労経験のある60～69歳 2,600名
- ・調査対象エリア：首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）、関西圏（京都府、大阪府、兵庫県）、中京圏（岐阜県、愛知県、三重県）
- ・サンプルの構成は以下のとおり

	男性		女性		合計
	60-64歳	65-69歳	60-64歳	65-69歳	
首都圏	300	300	300	300	1,200
関西圏	200	200	200	200	800
中京圏	150	150	150	150	600
合計	650	650	650	650	2,600

- ・調査時期：2015年3月21日（土）～25日（水）
- ・調査手法：インターネット調査
- ・調査会社：株式会社 ビデオリサーチ

以 上